

## 様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 2 年 6 月 18 日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所

神戸市中央区磯上通四丁目1番13号

氏 名 (法人にあっては名称及び代表者氏名)

清水建設株式会社神戸支店

執行役員支店長 山下 浩一

電話番号

078-262-8042

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 元 年度の  
産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	清水建設株式会社 神戸支店
事業場の所在地	神戸市中央区磯上通四丁目1番13号
事業の種類	0611一般土木建築工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,200 t	全処理委託量	1,200 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	100 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	1,140 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	6 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 0600 廃プラスチック類)

車業者二一ノ : 28JS000227

事業者コード：28JS000227 地域コード：23 26

(事業者コード(28J)で始まる全10桁コード)が不

(事業者コード(28J)が始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名称を記入ください。

```

graph TD
    A[有価物量] --> B[不要物等発生量]
    B --> C[自ら直接  
再生利用した量]
    C -- ② --> D[ ]
    D --> E[ ]
    E -- 0 --> F[ ]

```

The flowchart illustrates the calculation of the quantity of waste generated (不要物等発生量) from the quantity of recyclable items (有価物量). The recyclable items are directly reused or recycled (自ら直接再生利用した量), which is quantified by ②. This results in 0.

自ら中間処理した後  
再生利用した量  
⑧ 0

自ら中間処理した後 再生利用した量	(8)	0
⑪のうち 再生利用業者への 処理委託量	→	(12) 6.2

項目	実績値
① 排出量	7.7
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	7.7
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	6.2
⑬ 热回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 热回収認定業者以外の热回収を行ふ業者への処理委託量	0

自ら 中間処理した量	0
④のうち熱回収 を行った量	0
自社処理を行わざ る量	7.7
直接 中間処理委託量	7.7
直接 最終処分委託量	17

```

graph TD
    1[1. 収集] --> 2[2. 初回処理]
    2 --> 3[3. 中間処理]
    3 --> 4[4. 直接及び  
自ら中間処理した後  
の  
処理委託量]
    3 --> 5[5. その他  
の  
処理]
    4 --> 6[6. 最終処分した量]
    5 --> 7[7. 循環  
量]
    7 --> 6
  
```

各段階の量と割合:

- 1. 収集: 0
- 2. 初回処理: 0
- 3. 中間処理: 0
- 4. 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量: 7.7 (10)
- 5. その他の中間処理: 0 (13)
- 6. 最終処分した量: 0 (14)
- 7. 循環量: 7 (15)
- 8. 熱回収認定業者への熱回収を行った業者への処理委託量: 0 (16)
- 9. 優良認定業者への処理委託量: 0 (17)
- 10. その他の中間処理: 0 (18)
- 11. 最終処分した量: 1.5 (19)
- 12. 熱回収認定業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量: 0 (20)

最終中間処理後の再生利用率: (18) + (19) = 1.5%

(第2面)

委託中間処理後の再生利用量(18-19):

### 計画の実施状況

木くず 0800 (産業廃棄物の種類 :

事業者コード： 28JS000227

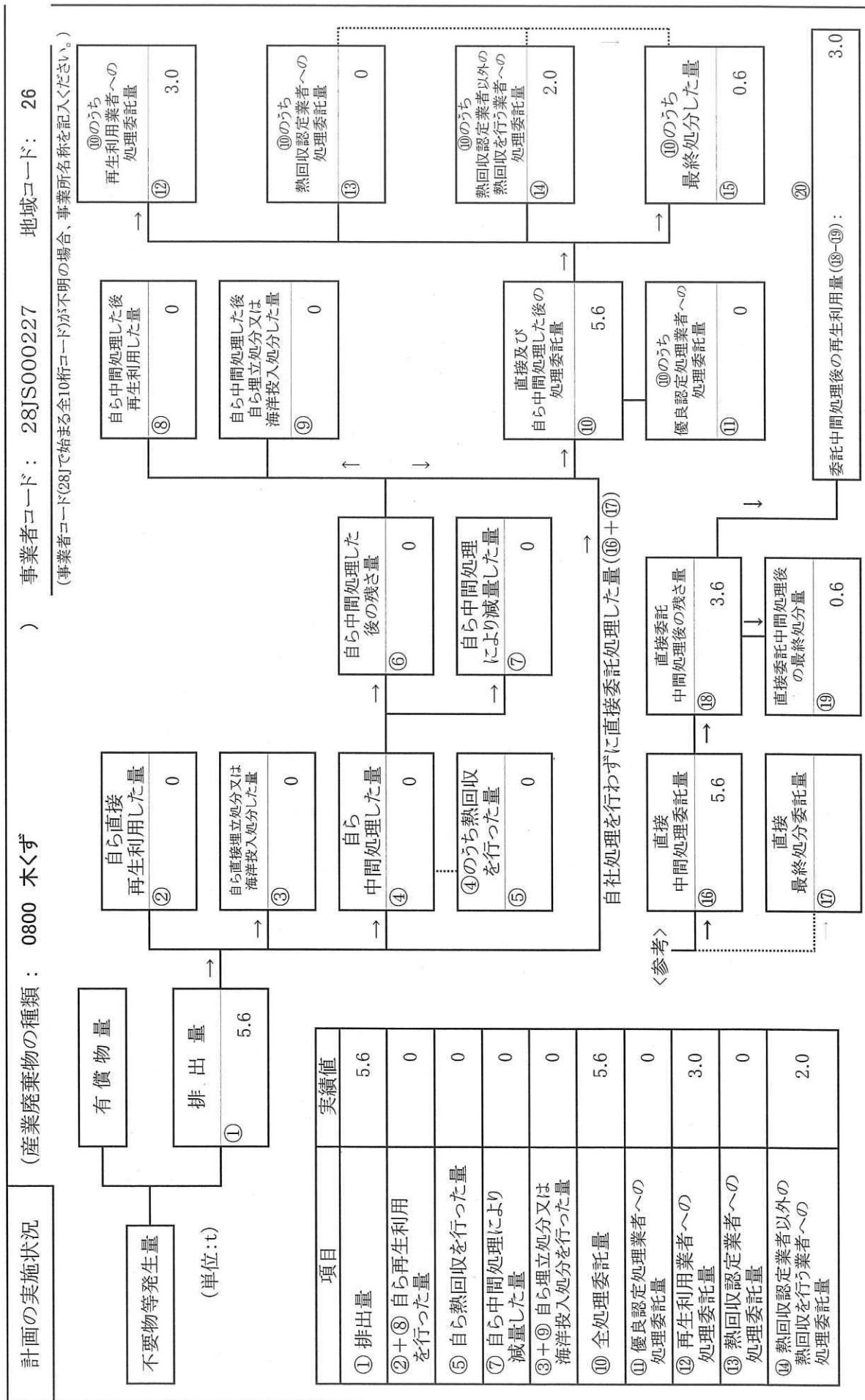
) 事業者コード： 28JS000227 地域コード： 26

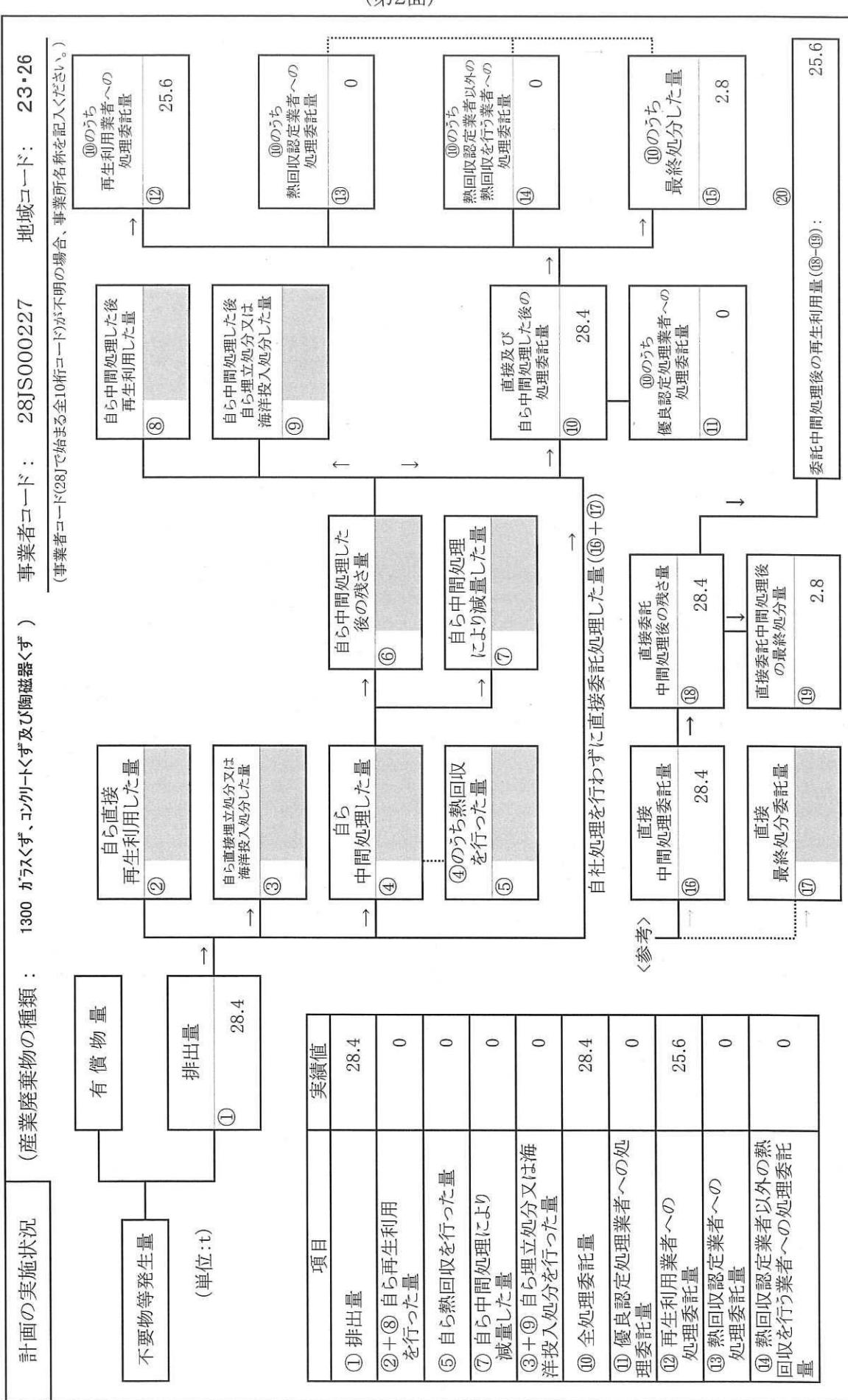
不要物等発生量

有償物量	自ら直接 再生利用した量	②	0
------	-----------------	---	---

(事業者コード(28)で始まる全10桁コード)が不明の場合は、事業所名を記入ください。)

(第2面)



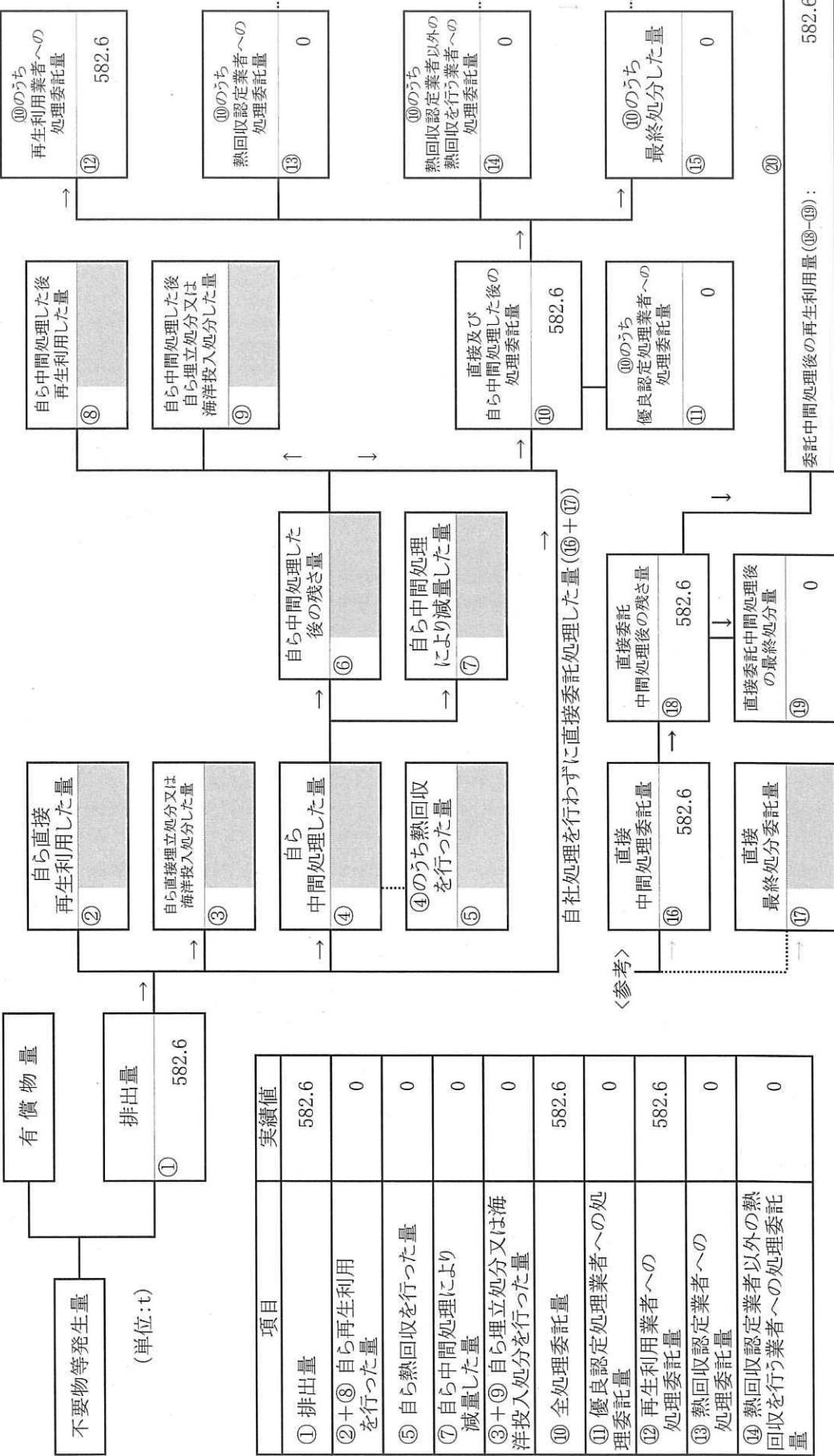


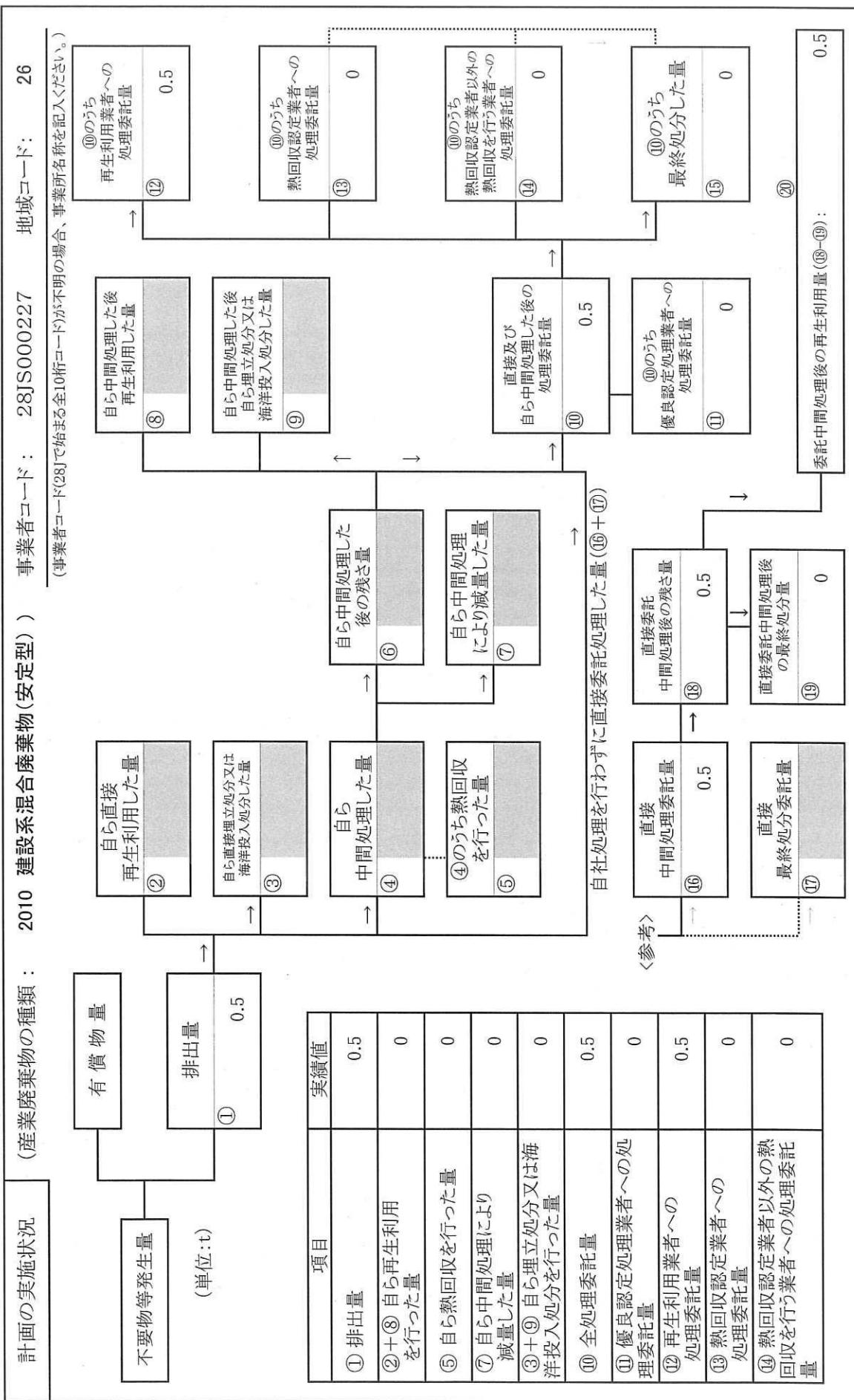
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 1500 がれき類 )

事業者コード : 28JS000227 地域コード : 23・26

(事業者コード(28)が始まる全10桁コード)が不明の場合、事業所名を記入ください。)





計画の実施状況		(事業廃棄物の種類 : 2020 建設系混合廃棄物(管理型) )	事業者コード : 28JS000227	地域コード : 22・24・26・29
(事業者コード(28)が始まる全10桁コードが不明の場合、事業所名称を記入ください。)				
不要物等発生量		有償物量		
(単位:t)		自ら直接 再生利用した量		
	②	排出量		
	① 29.8	自ら直接 海洋投入処分した量		
		③		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑧		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑨		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑩		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑪		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑫		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑬		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑭		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑮		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑯		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑰		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑱		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑲		
		自ら中間処理した 後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
		⑳		
項目	実績値			
① 排出量	29.8			
②+⑧ 自ら再生利用 を行った量	0			
⑤ 自ら熱回収を行った量	0			
⑦ 自ら中間処理により 減量した量	0			
③+⑨ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量	0			
⑩ 全処理委託量	29.8			
⑪ 優良認定処理業者への処 理委託量	0			
⑫ 再生利用業者への 処理委託量	19.4			
⑬ 热回収認定業者への 処理委託量	0			
⑭ 热回収認定業者以外の熱 回収を行う業者への処理委託 量	5.3			
<参考>				
直接				
中間処理委託量				
⑯ 29.8				
直接委託				
中間処理後の残さ量				
⑱ 24.5				
直接				
最終処分委託量				
⑲ 5.1				
直接委託中間処理後 の最終処分量				
⑳ 5.1				
委託中間処理後の再生利用量(⑮-⑲) :				19.4

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)	①欄	当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)	②欄	(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)	③欄	(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)	④欄	(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)	⑤欄	(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)	⑥欄	自ら中間処理をした後の量
(7)	⑦欄	(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)	⑧欄	(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)	⑨欄	(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)	⑩欄	中間処理及び最終処分を委託した量
(11)	⑪欄	(10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
(12)	⑫欄	(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)	⑬欄	(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
(14)	⑭欄	(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。